

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p><b>1 市の防災体制を強化するために (30分)</b></p> <p>昨今、日本各地で災害が頻発しております。過去半年間における主な災害として、6月18日に発生した「大阪府北部地震」では、9歳の女子児童が学校のブロック塀の崩落に巻き込まれて死亡したほか、4人が亡くなりました。6月26日から7月8日にかけて発生した「西日本豪雨」は、西日本を中心に広範囲な地域で甚大な被害を及ぼしました。被災地での死者は、岡山・広島・愛媛を中心に15府県で220人以上に上り、平成で最悪の豪雨災害となります。9月6日に発生した「北海道胆振東部地震」では死者が41人に上り、北海道全域で停電が発生するなど、各種インフラにも多大な被害が発生しました。9月30日から10月1日にかけて日本を縦断した「台風24号」による被害は、暴風による建築物等の損壊や倒木など、各地で確認されております。</p> <p>一方、鶴ヶ島市では地域防災計画を策定し、防災・減災体制を整備しています。しかしながら、上述の様に日本各地で災害が頻発し、以前では考えられなかった想定外・突発的な災害も発生している現状においては、防災体制を再度点検し、非常時に備えていくことが必要です。この様な観点から以下、質問いたします。</p> <p>(1) 台風24号による当市の被害状況は。  (2) ゲリラ豪雨などの突発災害への備えは。  (3) 鶴ヶ島市地域防災計画の地震被害想定は。  (4) 物資の備蓄体制は。  (5) 災害時における職員の参集体制は。  (6) 災害情報の伝達体制は。  (7) 要配慮者の防災対策は。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>
<p><b>2 子育て支援の充実について (30分)</b></p> <p>近年、急激な少子化の進行や保護者の就労環境の変化などに伴い、子どもを取り巻く環境が著しく変化してきております。鶴ヶ島市では多様化する子育てニーズに対応するため、「鶴ヶ島市子ども・子育て支援事業計画」や関連する個別計画を策定・実行し、子育て環境の充実を図ってきました。その甲斐もあり、市民から</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>は市の子育て事業に関し、概ね満足しているとの声が聞かれる一方、課題や要望も浮上してきております。</p> <p>平成 31 年度は「第 2 期鶴ヶ島市子ども・子育て支援事業計画」の策定年度です。計画策定にあたり、子育て施策の現状と課題、市民の要望等を確認し、一層の子育て環境の充実が図られることを期待して質問いたします。</p> <p>(1) 鶴ヶ島版ネウボラの課題は。</p> <p>(2) ファミリー・サポート・センターの利用件数と提供会員の推移は。</p> <p>(3) 2019 年 10 月から実施予定の幼児教育無償化に伴うサービスの提供体制の確保は。</p> <p>(4) 子どもの貧困対策は。</p> <p>(5) 公園などの子どもの遊び場の整備は。</p>	